

友好都市コーナー

「三鷹市民駅伝大会」で健闘
今年も上位入賞の矢吹町チーム

日本三大開拓地交流
福島県 矢吹町



「第15回三鷹市民駅伝大会」が2月11日に開催され、姉妹都市である矢吹町からも4部門（一般男子・女子、中学男子・女子）に出場し、今年も大活躍しました。

大会には、シニアの部も含め5部門に159チームが出場。その中でわが矢吹町チームは中学女子の部で優勝、中学男子と一般男子の部は準優勝、一般女子も3位に入賞するなど、矢吹町チームの健闘が光りました。

三鷹市内一周13・3キロメートルを4区間に分けて競い合うこの駅伝大会。精一杯走る各ランナーには、沿道の三鷹市民の皆さんから心温まる声援が送られていました。

●姉妹都市「三鷹市」と「矢吹町」

東京都三鷹市と矢吹町が姉妹都市締結を結んだのは、昭和39年6月。今年で43年目になります。以来、各方面で両市町の交流が続けられ、中でも子どもたちを対象とした交流会事業は、昭和47年から続く歴史あるものとなっています。

桂月の文学碑を訪ねて ⑪



「淵澤をすぐれば 人の里ならず
葛をわたりて 神園に入る」

碑のある淵澤レストパークの近くには、樹齢約1200年の国指定の天然記念物「法量のイチヨウ」があることから、イチヨウの葉をモチーフにデザインされています。

桂月は、紀行文に「三本木は十和田湖第一の関門也。一帶の平原、東西十里、南北三十里、南部馬の本場にして万馬ここに躍る。…淵澤は十

和田第二の関門也。ここにて人寰を離れて、路始めて溪に接する也。…右に一町ばかり入れば、千年の大銀杏あり。周囲四丈五尺、二十四間四方を蔽ひて、銀杏特有の乳房いくつとなく、垂れて地に達せむとす。こゝは善正寺の跡にて、十和田湖開祖の南祖坊はこの寺に生まれたと云い伝ふ。…」（葛温泉籠城記・葛温泉の道筋より）と綴っています。

大正期の奥入瀬、八甲田、十和田湖は原生林に囲まれた豊かな自然を有していて、桂月はそれらの大自然を神園と表現しています。

この碑は、十和田国立公園指定60周年を記念して平成8年に建立されました。写真は、この歌を詠んだ当時休屋で写したものです。



「明治」（第21号）より

問い合わせ先

総務課 (☎) 5111 内線156